

【本田期の主要病害虫防除】

耕種的防除を積極的に活用するとともに薬剤防除は発生予察情報及び地域の発生実態に基づき、防除要否を判断し的確に行う。また、効率的な防除を進めるため、後半期防除の体系化と使用薬剤の計画的なローテーションを図る。

表 主要病害虫の防除の目安

病害虫名	項 目		基 準
※ イネミズゾウムシ	越冬後寄生成虫の被害許容密度 育苗箱施用 本年、越冬後成虫が株当たり 0.3 頭以上の発生が見込まれる場合 本田施用 本田発生盛期の越冬後寄生成虫が株当たり 0.3 頭以上の場合		0.3 頭/株
※ イネドロオイムシ	越冬後成虫本田侵入最盛期頭数（5月下旬） 産卵最盛期産卵数（6月上旬） 幼虫加害盛期被害葉率（目標）		0.5 頭/10 株 5 卵塊/10 株 20%以下
※ ニカメイチュウ	第1世代	前年第2回成虫予察灯総誘殺数* 前年第2世代末被害茎率 刈り株の越冬幼虫数 第1回成虫予察灯総誘殺数* さや枯最盛期被害茎率（防除時6月中～下旬） 第1世代末心枯茎率（目標）	50 頭 2 % 1,000 頭/10a 100 頭 3 % 1 %以下
	第2世代	第1世代末心枯茎率（7月中～下旬） 第2回成虫予察灯総誘殺数* 第2世代末被害茎率（目標）	1 % 50 頭 2 %以下
フタオビコヤガ	第3回成虫最高日誘殺数（7月中旬）* 出穂期上位2葉の食害葉率		100 頭 10%
コブノメイガ	第2回成虫20回当たりすくい取り虫数（7月中～下旬） 第3回成虫20回当たりすくい取り虫数（8月上～中旬）中・晩生 出穂期上位2葉の食害葉率		1 頭 2 頭 10%
ツマグロヨコバイ	7月下旬20回当たりすくい取り虫数 （第2世代幼虫～第3回成虫） 早・中・晩生 8月上旬20回当たりすくい取り虫数 （第2世代幼虫～第3回成虫） 早・中・晩生 8月4～5半旬20回当たりすくい取り虫数 （第3回成虫～第3世代幼虫） 中・晩生		40 頭 200 頭 200 頭
セジロウンカ	7月下旬20回当たりすくい取り虫数 早・中・晩生		80 頭
トビイロウンカ	8月上旬短翅型成虫密度		0.25 頭/株
	8月下旬成・幼虫密度 中生 晩生		10 頭/株 5 頭/株
※ 紋 枯 病	発病株率 早 生（出穂14日前頃） コシヒカリ（出穂10日前頃）		5 % 15%

注) 本防除要否の基準は、防除要否を判断するための「目安」であり暫定基準である。今後、研究の成果及び現地の実情によって変更する。

※印は、すでに防除指針に採用しているもの。

*印は、地域単位で利用するもの。